

令和2年度「テクニカルサポート北海道」現地研修

令和2(2020)年9月1日(火)に実施した現地研修では、現場写真管理システム・災害速報管理システムを活用した報告訓練を行い、参加者の皆様から高評価をいただきました。

①被災箇所を発見(道路・河川)



道路災害

- ・道路決壊
- ・路面崩壊
- ・土砂流出
- ・落石
- ・倒木
- ・その他
- ・法面崩壊
- ・路面陥没
- ・地すべり
- ・冠水
- ・雪崩

河川災害

- ・破堤
- ・越水
- ・内水
- ・溢水
- ・油漏れ
- ・河岸崩落
- ・堤防の異常
- ・護岸等の異常
- ・その他

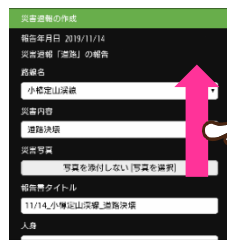
STEP-1: 現場写真管理システムで写真を撮影しアルバムを作成

※ 携帯電話の通信エリア外でも、現場写真管理システムを使った写真撮影は可能です。



STEP-2: 災害速報管理システムで災害速報を送信

※ 災害速報管理システムは、携帯電話の通信エリア内で利用できます。



【現場から速報として伝えられる情報】

- ★ 路線名(水系・河川名)
- ★ 災害内容
- ★ 報告書タイトル
- ★ 災害写真
- ★ 人身、物損、孤立集落の有無(道路のみ)
- ★ 浸水、家屋被害の有無(河川のみ)
- ★ 備考(テキスト記入欄)

★: 必須項目

STEP-3: 建設部維持管理防災課へ電話連絡



維持管理防災課に状況を報告し、応急対策等について協議しました。

STEP-4: 調査資料の整理



出張所に戻り、現地から送信した災害速報を基に調査資料を整理しました。



② 迅速な情報の共有



システムで作成した資料はリアルタイムで共有できます。